

果樹苗木の植え付け方

● 植える場所

- 水はけの良い場所
- 土が深い場所
深さ30cm 程度までに硬い岩盤や粘土の層などがなく、掘り返すことができる。
- 日当たりのよい場所
発芽から落葉までの期間の日当たりが確保できる
午前中の日当たりが良い
冬期の北風に直接当たらないところ
- 将来の樹の大きさをイメージして場所を選択する
ある程度の広いスペースが確保できる
日当たりなど、家屋との距離などを考えて場所を決める

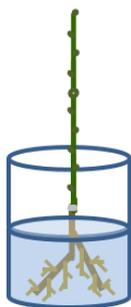
● 土壌改良

- 深く掘り返し、土を軟らかくする
- 水はけと水持ちの良い土に改良するため、腐葉土やバークたい肥などをすき込む
- 土の酸性度が高い(低 pH)場合には、苦土石灰等を施して、適正な酸性度に調整する。

● 植え付け時期

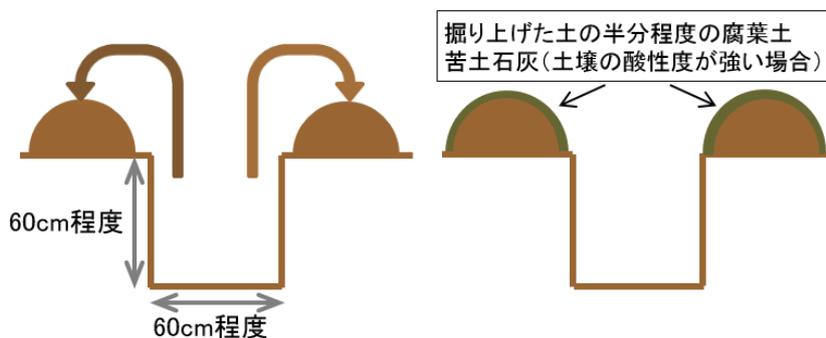
- 常緑果樹: 樹の活発な活動が始まる前の春植え(3月頃)が一般的です。
- 落葉果樹: 落葉直後の秋植えと発芽前の春植えがあります。3月頃までには根の生育が始まっているので、春からの生育が良く、新根発生前の年内に植える秋植えがお勧めです。寒冷地等で積雪の多い地域では、発芽前の春植えが無難です。

● 植え付けの手順



1. 吸水

- 植え付け前に半日程度水に浸し吸水させます。
- 接ぎ木テープを取り除きます。
- 接ぎ木部から枝の長さの2/3程度（良い苗木の場合、70～80cm）のところで切り返します。
- 根が十分ある場合、長すぎる根や傷ついた根は切り詰めます。

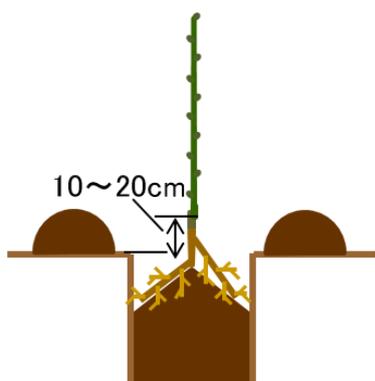


2. 植え穴の準備(I)

- 直径・深さ60cm程度の植え穴を掘ります。

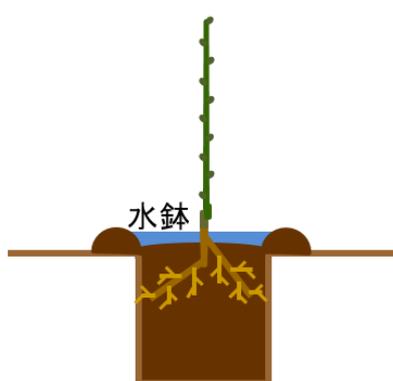
3. 植え穴の準備(II)

- 腐葉土、苦土石灰などの土壤改良資材を掘り上げた土とよく混ぜ合わせた後、穴の中で山を作るように埋め戻します。



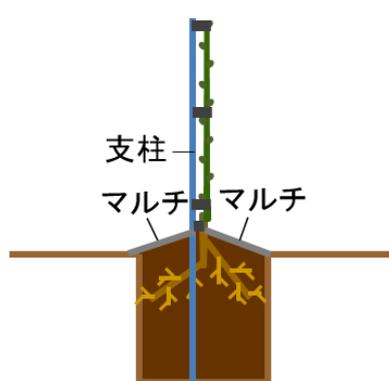
4. 植え付け(I)

- 山の頂上に苗木を置き、接ぎ木部が地表面より10～20cmになるように山の高さを調節します。
- 苗木を垂直に立て、根は四方に広げ、根の先端から土をかけ、埋め戻します（腐葉土やたい肥が根と直接接触しないように注意して下さい）。



5. 植え付け(II)

- 苗木の周囲に堤防を作り、リング状の溝（水鉢）の中に十分な水を入れます。この「水やり」には、水分補給以上に土と根を密着させるという重要な役割があります。



6. 植え付け(III)

- 株元に支柱を立て、台木部分、穂木の少し上、枝の先端の最低3箇所を支柱にひもで結びつけます。
- 乾燥防止と雑草防止を兼ねて、ビニール、わら等でマルチをします。